

## 地域金融パネル：

### 顧客の期待する地域金融の機能と地域金融機関の対応

座長 名古屋大学 家森信善

北九州市立大学 木村温人

#### <趣旨説明>

2003年3月に策定された「リレーションシップバンキングの機能強化に関するアクションプログラム」以来、地域金融機関はリレーションシップバンキング機能の強化に努力してきた。その際、中小企業の実際の声を反映した取り組みが、地域金融機関の再生や地域金融システムの構築に不可欠であることはいうまでもない。しかし、中小企業が地域金融機関に本当に望んでいるものはどのようなものであるのかは必ずしも明らかになっているわけではない。とくに、中小企業は非常に多様であり、また金融環境が大きく変わってきているために、現実の中小企業のニーズを知ることは極めて困難である。

そこで、本パネルでは、最近行われた企業金融に関するアンケート調査の結果を紹介する。具体的には、第一報告は大阪市の企業を対象にしたアンケート調査、第二報告は東海3県（愛知県、岐阜県、三重県）および関西3府県（大阪府、京都府、兵庫県）の企業に対するアンケート調査、第三報告は北九州市の企業に対するアンケート調査である。当然、これらはそれぞれ独立に行われたアンケート調査であり、質問事項は異なるが、地域の企業金融の実態や課題を明らかにしたいという点では問題意識は共通している。

3本の報告が終わった後、報告者、パネリストおよびフロア参加者の議論を通じて、現在の中小企業が地域金融機関に何を望んでおり、その実現のためにどのような地域金融機関の経営課題があり、さらには金融システム政策上の問題があるのかを探ることを目指したい。また、こうしたアンケート調査を今後行っていく上で、どのような改善が必要かといった点についても議論ができればと考えている。